

松本

日露合作劇「シベリアに桜咲くとき」公演に向け、劇への思いを語る演出家ら



義を強調。ロシア人演出家のアレクセイ・ペセゴフさん(58)は「次世代に伝えていかねばならない話だと思っ」と語った。



八島ヶ原温泉の周囲に金網の柵を設置する協議会員ら

中越から栄村へ

被災した中山間地の未来 4

地域づくり

住民が暮らせるよう、一通りの復旧を終えたとしても、ただでさえ高齢化が進む村をどう復興するか。災害は、

栄村にボランティア200人 交流続く「縁」に期待

3月12日の地震発生から3カ月余の間に、下水内郡栄村には県内外から延べ2千人をを超えるボランティアが訪れた。壊れた家の片付けやごみの仕分け、避難所でのマッサ

5月末、青倉集落の水田につながる水路で、県内外のボランティア約20人が、落ち葉や泥を取り除き水を通す作業をした。この水路に被害はな

い。毎年住民がやる作業だ。信大農学部(上伊那郡南箕輪村)や長野大(上田市)の学生は、農作業や集落の事業で

「今年中旬から設置を始めこの日はボランティアを含む約60人が集まった。参加者は6班に分かれて作業。高さ2

再建参加の若者移住

十日町市池谷集落

国道117号から4時ほど東に入った新潟県十日町市の池谷は、山あいの小集落だ。2004年の中越地震で被災し、たった6軒になった。ここに昨年、30代夫婦と子ども3人家族が移り住んだ。さらにことし、20代の独身女性2人が相次いで暮らし始めた。

「農山村の現状を知ってもらうチャンスだと思った」と山本さん。JENとは、出身集落の民家を別荘として利用していた関係者がいたことか

池谷は地震の後、海外支援

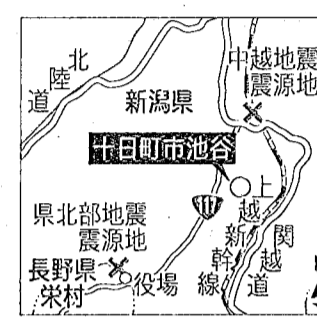
の実績があるNPO法人JEN(東京)の支援を受けた。池谷は、山あいの小集落だ。

「食料やエネルギーなど必要なものが賄えない今の日本に疑問があった。集落や地区単位なら、賄える可能性はあるのではないか」と考えて

当初は遠くから見守っていた集落の住民も、新しく来た若者に田作りを教え始めた。

「若者が引継いだ。山本さんは「まだ道の途中。彼らが農業後継者となって、初めて成果といえる」と話す。

「地域を代表するような土産品にしていきたい」と話す。



都会の住民と交流が続く池谷集落の農作業。昔ながらの手間のかかる方法が、都会の人に新鮮だ

「農山村の現状を知ってもらうチャンスだと思った」と山本さん。JENとは、出身集落の民家を別荘として利用していた関係者がいたことか

当初は遠くから見守っていた集落の住民も、新しく来た若者に田作りを教え始めた。

「若者が引継いだ。山本さんは「まだ道の途中。彼らが農業後継者となって、初めて成果といえる」と話す。

「地域を代表するような土産品にしていきたい」と話す。

現代美術フェス 参加型企画も 長野 松代で来月開幕

長野市松代町の松代大本営地下壕跡や近くの国指定史跡「旧文武学校」を会場に、国内外の芸術家による作品展示や実演がある「まつしろ現代美術フェスティバル」が、7月3日から始まる。今回は10回目の節目で、フェス実行委員長で造形作家の木村仁・信大教育学部教授(62)は「参加型の企画もあるので多くの人に訪れてほしい」と呼び掛けている。フェスは日韓共催のサッカーワールドカップ(W杯)がた2002年に開始。「W杯を日本と韓国の過去を見つめ鮮人の強制労働があった松の活動を通して平和を訴い」との願いを込めた。木んの知人で韓国在住の体をて芸術を表現するパフォーマンスアーティスト、ホン・オさんにも呼びかけ、1回巨参加してもらっている。フェスのメイン会場はE学校で、室内外に写真や金

国際審査で3年連続「三つ星」



高森の企業出品の菓子「りんご乙女」 食品や飲料品を専門家が審査する国際味覚審査機構(ITTQI、ベルギー)主催の「三つ星」を受賞した。三つ星を受賞するのは3年連続。須坂市の遠藤酒造場が出品した「深流 大吟醸」も3年連続で三つ星を受賞した。同酒造場は2009年にも3年連続受賞を達成、マツザワは初の県内の地域に根差した味が国際的な評価を受けた。マツザワによると、りんご乙女は薄焼きのクッキー。すりおろしたりんごを加えた生地、スライスしたりんごを載せて焼く。りんごの

Weather forecast table for various locations including Nagano, Matsumoto, and other areas, showing temperature and precipitation data.